

京都市南区基本計画策定委員会第3回会議 議事録

日 時：令和2年3月10日（木）13：30～15：00

場 所：南区役所 A・B 会議室

出席者：

氏 名	所 属	備 考
天野 広一	南区自治連合会（唐橋学区（中学区）），南区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会，南少年補導委員会	委員長
田中 一明	南区自治連合会（九条学区（東学区）），南区社会福祉協議会	
野村 良博	南区自治連合会（吉祥院学区（西学区）），南区共同募金会	
山田 信之	日本新薬株式会社総務部渉外担当部長（南区まちづくり推進会議）	
山田 正志	京都中小企業家同友会南支部	
矢田貝 宏美	市民公募委員	欠席
植松 明彦	市民公募委員	
小野 恭裕	京都市立塔南高等学校校長	欠席
石原 凌河	龍谷大学政策学部准教授	

1 開 会

2 挨 拶

委員長 天野 広一
 南区長 古川 真文

3 議 題

- (1) 資料説明
- (2) 意見交換
- (3) 事務連絡

(2) 意見交換

①キャッチフレーズについて

天野委員長

山科区や下京区のキャッチフレーズには「区」が入っていない。南区においては、「みなみ」とするのか「南区」とするのか。また、南区を前の方に持ってくる方がいいのか、後ろの方がいいのか。

田中委員

下京区のキャッチフレーズは小難しく、山科区のは漠然としているように感じる。身近に感じられる文言が良い。例示しているものは、イメージしているものに近い。

石原委員

次期基本計画は、「みなみ力」がコンセプトになるため、キャッチフレーズにも入れるべきだと思う。また、「安心・安全」は必要条件であり、どの区でも達成すべきものなので、キャッチフレーズとしては、もっとポジティブな打ち出し方がいいのではないかな。

天野委員長

安心・安全をイメージさせる言葉として例えば、「誰もが住みやすい」などの言葉はどうか。

山田（正）委員

抽象的ではあるが、「幸せ」などはどうか。

木村アドバイザー

「安心・安全」や「住みやすい」はプラスをプラスに変える表現であるが、「幸せ」や「楽しい」などもっと肯定的な表現がいいのではないかな。「わくわく」などプラスをプラスに変えるような表現がいいのではないかな。

田中委員

「いきいき、のびのび、住み心地の良いまち南区」などはどうか。

植松委員

「みなみ力」と「みんなで取り組む」は語呂が良い。

天野委員長

今回の委員会ですた意見をもとに、パブコメでキャッチフレーズを募集してはどうか。

資料7について、主要な取組例は、次期基本計画にも記載されているのか。

事務局

記載される。

山田（正）委員

いきいき、わくわく、に加えて安心もそのような言葉に置き換えればいいのではないか。
P13、将来像のイメージを一言で表すとどのような言葉になるのか。

事務局

いきいき、わくわく、のびのびはサブタイトルとしてはどうか。

天野委員長

みなみ力が入っていたら南区を書かなくてもいいのではないかと思う。

野村委員

下京区のキャッチフレーズは、絆、魅力など表現が固いように思う。「いきいき、わくわく、のびのび みなみ力」が良い。

天野委員長

柔らかく、ほんわかした言葉がいいのではないか。

石原委員

P9の南区の特徴を参考にとすると、「みんながいきいきと住みやすい南区」などはどうか。

田中委員

中高生の意見が聞きたい。P3、アンケート結果を見ると、やる気に満ちているように感じる。委員会で決めたキャッチフレーズに対して、意見をもらえると良い。

事務局

パブコメを実施する段階で協力いただけたらと思う。

山田（信）委員

ひらがなが多いように感じるが、「みなみ力 みんなで育む住み良いまち みなみ（南区）」などはどうか。

天野委員長

ひらがなは多いが、誰でも分かるし読みやすいと思う。

山田（信）委員

パブコメでは、キャッチフレーズは一つだけか。

事務局

パブコメでの意見募集については検討する。

石原委員

「みなみ力で育む みんなが住みやすいまち 南区」はどうか。

田中委員

「住みやすいまち」や「住み良いまち」と言う言葉を入れてほしい。

天野委員長

「まち」はひらがなが良い。

②次期基本計画の素案について

石原委員

P13、めざす区の未来像、「地域力（みなみ力）」の表現について、P16 では「みなみ力」になっている。統一した方が良いのではないか。そのほか「安心・安全」、「安全・安心」についても、どちらかに統一した方が良い。

将来像について、中心の「地域力（みなみ力）が息づくまち」を達成するために、6つの柱があると考えているが、その関係を文章に盛り込むべきである。

P12、いのちと暮らしを守るまちについて、リード文に空き家について記載されていないので記載した方がよいのでは。

P28、美しいまちについて、環境の項目が多い。「美しく環境にやさしいまち」という視点を入れるべきではないか。

天野委員長

P26、文化芸術が舞い咲くまちについて、「舞い咲くまち」なのか、「舞い・咲くまち」なのか。それぞれの言葉の整理が必要である。

古川区長

「みなみ力（地域力）」、「地域力」はどちらが良いか。

山田（信）委員

「みなみ力（地域力）」が良い。

事務局

「みなみ力（地域力）」で表記を統一する。

天野委員長

「安心・安全」、「安全・安心」については、「安心・安全」がいいのではないかな。

田中委員

「安心・安全」の方が言いやすいと思う。

事務局

「安心・安全」で表記を統一する。

山田（正）委員

P20、「『高齢者も主役』になれるまちづくり」について、高齢者だけに特化していいのかな。
「誰もが主役になれるまちづくり」の方がいいのではないかな。その中に高齢者の項目を盛り込めればいいのではないかな。

天野委員長

「健やかに暮らせるまち」は、ターゲットを意識しながら取組方針を書いていた方がいいかな。「高齢者も主役」になるまちづくりは、今後も高齢者が増えることを意識して書いていた方がいいかな。高齢者だけでなく、誰もが主役というメッセージが伝われば良い。

古川区長

取組方針2は「主役」、取組方針3は、「支える」という言葉では差を感じる。取組方針3は「支える」だけでない言葉に修正する。

山田（信）委員

P24、いのちと暮らしを守るまちについて、「レジリエンス」と言うような文言が入った方がいいのではないかな。

古川区長

写真は、説明書きが必要ではないかな。その方がイメージしやすい。

P26、文化芸術が舞い咲くまちについて、取組方針１の写真は、マダンの写真の方が知っているのではないかと。取組方針３の写真は、東寺ではなく、六斎念仏の写真がいいのではないかと。

石原委員

P31、計画の推進に向けてについて、区民の皆様方一人ひとりが心がけていただきたいことと書いてあるが、啓発的な文言は入っていない。違和感がある。

京都市の基本計画との関係はどうなのか。現行計画には、連携を図ると書いてあるが。

天野委員長

空き家、空き地に関してできることはないのか。京都市の取組に参加している学区は、唐橋学区だけである。他区では、下京区、東山区、北区、左京区などは、空き家、空き地の問題が顕著である。P25、取組例に記載されているが、もう少し書き込みが必要ではないかと。

植松委員

策定の経緯について、区民アンケート以外にも、区民の意見を反映させていることが分かるように、ふれあいカフェやパブコメ、委員会の開催なども記載すべきではないかと。たくさん意見を踏まえて次期基本計画が策定されたことが分かるように。

山田（正）委員

「若者が活躍できるまち」という文言が加筆できないか。アンケート意見も踏まえつつ、若者が活躍できる場所を作っていきましょう、などという言葉が入れられないか。

天野委員長

若者の意見に耳を傾ける南区であってほしい。

田中委員

P18、子ども・若者が育つまちについて、取組方針１の「若者の自己成長と社会参加の促進」という文言が分かりづらい。「若者の知恵と行動力が地域で発揮できるまちづくり」という文言があれば。

小中学生は地域が支えていく必要があるが、高校生は、地域に積極的に関わる仕組みがあればいいのではないかと。

天野委員長

南区の少年補導委員会の学生班は、０人である。

若者とのつながり方について、起業する若者の応援ができればと思う。区民が職場を見学

する機会があるが、その学生版が取り組めないか。

南区では、企業しようと思った時に、民間としても行政としても協力体制があるという文言を入れることができないか。

石原委員

P22、活力あふれるまちについて、若者の起業支援など具体的な取組として位置付けた方が良い。南区は、若者がお店を開いたり、ソーシャルビジネスを起こすなどの動きがある。そこを応援するような取組が必要ではないか。

古川区長

京都市では、スタートアップ支援事業などの施策があるため、本庁と調整する。

天野委員長

山王学区や東和学区は若者の芸術活動を応援する動きがある。発信のチャンスが必要。次回の委員会は、12月を考えているのか。

事務局

今後のスケジュールとしては、4月ごろに京都市基本計画との整合性を確認することや秋ごろにパブコメがあり、その後、第4回委員会となる。パブコメの間までは、意見を言って頂けるとありがたい。

山田（正）委員

資料は、中小企業家同友会で共有し、意見を募ってもいいのか。

古川区長

パブコメの際に、意見を頂けるとありがたい。

事務局

パブコメについて、「みなみ力で育む みんなが住みやすいまち 南（区）」をキャッチフレーズの案として意見を伺う。合わせて、若者の意見も聞く機会を設ける。

4 閉 会